

平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震について

平成 20 年 06 月 15 日（19：00）現在
官 邸 対 策 室

1. 地震の概要（気象庁）

- (1) 発 生 日 時 平成 20 年 06 月 14 日 08 時 43 分頃
(2) 震 央 地 名 岩手県内陸南部（北緯 39 度 02 分、東経 140 度 53 分）
(3) 震源の深さ 8 k m
(4) 規 模 マグニチュード 7. 2（推定）
(5) 各地の震度（震度 5 強以上）
 震度 6 強 岩手県奥州市
 宮城県栗原市
 震度 6 弱 宮城県大崎市
 震度 5 強 岩手県北上市、一関市、金ヶ崎町、平泉町
 宮城県加美町、涌谷町、登米市、美里町、名取市、仙台市、利府町
 秋田県湯沢市、東成瀬村

- (6) 津 波 この地震による津波の心配なし

- (7) 余震情報（15 日 18:00 現在）

震度 1 以上の余震 282 回

最大余震 09：20、マグニチュード 5. 7

- (8) 東北地方の気象の予想

今日（15 日）は、秋田県、岩手県は曇り時々晴れ、宮城県は晴れる見込み。風は全般に弱い見込み。

明日（16 日）は、低気圧が日本海北部から東北北部へ進む影響で、秋田県、岩手県では、午前中曇りで一時雨。被災地ではところにより弱い雨が降る程度の見込み。宮城県は晴れ、昼前から時々曇り。

17 日から 22 日にかけては、期間の前半は高気圧に覆われ、晴れや曇り、期間の後半は、気圧の谷の影響で曇りや雨となる見込みです。

なお、15 日 10:00 から岩手県、宮城県、秋田県の震度の大きかった市町村の大雨警報、注意報基準を引き下げて運用。

2. 被害状況（未確認情報を含む）

- (1) 人的被害（消防庁 15 日 18:30 ほか）

県 名	死 者	行方不明	負傷者	負傷者の内訳
岩手県	2		35	重傷 7、軽傷 28
宮城県	6	13(2)	202	重傷 33、軽傷 169
秋田県			17	重傷 3、軽傷 14

山形県			1	軽傷 1
福島県	1		2	重傷 1、軽傷 1
合 計	9	1 3 (2)	2 5 7	

() は未帰宅者で内数

【主な人的被害】

- ・岩手県 一関市において、地震に驚き道路に飛び出し、交通事故死
奥州市において、胆沢ダム建設工事現場の落石により死亡
- ・宮城県 栗原市において、土砂崩れにより 2 名死亡、車両埋没により 1 名死亡
栗原市（駒ノ湯温泉）において、生き埋めにより 3 名死亡
- ・福島県 いわき市において、岩場にいたところ地震の落石で海へ転落して死亡

(生き埋め・孤立情報等)

○生き埋め・行方不明情報

- ・宮城県栗原市駒ノ湯温泉で、建物の一階部分が倒壊し、生き埋め 7 名（宿泊客 2 名、従業員 3 名、経営者の家族 2 名）、警察、消防、自衛隊で捜索活動→3 名発見、死亡確認（再掲）（男性 1 名、女性 2 名）（警察庁 15 日 16:00）
- ・宮城県栗原市の花山本沢水無地区において、作業員 1 名行方不明。生き埋めの可能性→日没のため活動終了（消防庁 14 日 20:15）→捜索再開後、土砂崩れが随時発生し、危険箇所として一旦作業中断。現場から移動し、「自然薯の里」にて待機（警察庁 15 日 18:30）
- ・宮城県栗原市花山で土砂災害で車 1 台埋もれている（消防庁 14 日 11:04）
→女性 1 名救出済（軽傷）、男性 1 名救助済（けが無し）。（消防庁 14 日 19:20）
- ・湯浜温泉（湯浜から南 2 km）において、車両流出。2 台の車両を確認。男性 1 名、女性 1 名を救出（消防庁 15 日 01:00）また、潰れた車内から 1 名を発見し死亡確認（再掲）（警察庁 15 日 11:15）、余震等による崩落が多く、また、重機作業が必要であることから、午後 0 時 15 分に一旦作業を中断。現場を移動し、「自然薯の里」で待機。（警察庁 15 日 18:30）
- ・宮城県若柳町行者の滝で 1 名行方不明、警察 22:00 捜索中断（警察庁 14 日 21:26）
→捜索再開。余震等による崩落が多く、危険箇所として一旦作業を中断。現場から移動し、「ハイルザーム栗駒」で待機（警察庁 15 日 18:30）
- ・宮城県栗原市白糸の滝で老夫婦 2 名が転落、流された→15 日捜索予定（消防庁 14 日 22:20）→捜索再開後、土砂崩れによる自然ダムがあり、危険性が高いことから、谷底の捜索を中断し、上辺の捜索へ移行。一旦作業を中断し、現場から移動し花山へレポートで待機（警察庁 15 日 18:30）
- ・白糸の滝上流で釣り人 2 名行方不明（栗原市災対本部 15 日 09:30）
- ・荒砥沢ダムに車両 2 台埋まっているとの情報→捜索開始後、捜索可能範囲について全て捜索を実施。一旦作業を中断し待機（警察庁 15 日 18:30）、また釣り人 1 名行方不明との情報（消防庁 15 日 09:30）
- ・岩手奥州市県 R 3 9 7 においてマイクロバス 1 台（20 名乗り）が土砂崩れに巻き込まれ斜面を 30 m ほど落下、負傷者 7 名を含む 20 名を自衛隊ヘリで搬送。救助

完了（消防庁 14 日 21:00）。

- ・宮城県仙台東部道路でバスが走行中にバウンドし負傷者 24 名（重傷 1 名、軽傷 23 名）（警察庁 15 日 06:00）
- ・車で石淵ダムに向かった 2 名行方不明→徒歩で移動しているところを発見、搬送完了（警察庁 15 日 17:30）

○未帰宅情報

- ・栗駒山に登山に行った秋田県在住者 1 名が未帰宅→帰宅（警察庁 15 日 16:00）
- ・山菜採りに行った山形県在住者 2 名が未帰宅（秋田県湯沢警察署に届出）（警察庁 08:38、消防庁 15 日 18:30）

○孤立情報

- ・宮城県栗原市いわかがみ平登山口で 60 名孤立をヘリが発見→午後、新潟県防災ヘリ、自衛隊ヘリ等により全員救出完了（消防庁 15 日 05:34）
- ・R342 号矢櫃（ヤビツ）ダム周辺で、祭時（マツルベ）大橋の損傷により 19 名孤立、→ヘリ 3 機で搬送完了（警察庁 14 日 18:15）→確認のため 05:15 より搜索再開→孤立者 4 名発見、救出完了（警察庁 15 日 09:30）
- ・15 日 03:10 耕栄地区「山脈ハウス」（ハイルザームの手前）に周辺住民 37 名が自主避難。→明日、搬送予定（消防庁 15 日 17:00）
- ・岩手県一関市祭時（マツルベ）付近で孤立（消防庁 14 日 10:55）→付近の健康の森に避難した住民をヘリ（自衛隊、海保、消防）で 98 名救出（消防庁 15 日 02:52）、2 名自宅孤立者を警視庁ヘリにより救出（消防庁 15 日 10:34）
- ・岩手県一関市須川温泉で従業員・客約 100 名孤立（消防庁 14 日 11:50）→全員が自主下山完了（消防庁 15 日 02:52）
- ・温泉・プール施設「ハイルザーム栗駒」（宮城県栗駒温泉付近）に約 100 名が孤立→自衛隊、海保ヘリにより救出完了（栗原市災対本部 15 日 09:30）→新たに 14 名が一時避難→明日、搬送予定（消防庁 15 日 17:00）
- ・祭時（マツルベ）地区付近の市野々原地区内の公民館に 30 名が孤立→28 名が本寺小学校へ避難（消防庁 15 日 02:52）、2 名自宅孤立者を自衛隊ヘリにより救出（消防庁 15 日 10:34）
- ・祭時大橋の東側で 40 名が孤立→自衛隊ヘリ等で 38 名救出、本寺小学校へ避難（消防庁 15 日 02:52）、2 名自宅孤立者を岩手県警ヘリにより救出（消防庁 15 日 10:34）
- ・温湯（ぬるゆ）（宮城県栗原市）で 20 名が孤立→自衛隊ヘリにより救助完了（防衛省 14 日 22:30）
- ・真湯（しんゆ）地区（烏帽子山付近の R342 号）にて 47 名孤立→消防、自衛隊ヘリにより 45 名救出。15 日朝、残留者救出完了（消防庁 15 日 06:23）
- ・花山地区（金沢・中村地区）において、温湯（ぬるゆ）山荘に 30 名、中村集会所に 40 名、金沢地区 49 名が孤立（栗原市災対本部 15 日 09:30）→金沢地区は、道路開通により孤立解消、中村地区・温湯山荘は、ヘリによりしゃくなげセンター及び花山中学校に全員搬送済み（消防庁 15:30）
- ・温湯（ぬるゆ）温泉で孤立→自衛隊ヘリにより 38 名救助（完了）（防衛省 15 日 16:10）

(避難状況) (消防庁 15 日 09:30)

- ・岩手県 75 名 (一関市本寺小学校 53 名、奥州市愛宕農業者トレセン他 3 ヶ所 22 名)
- ・秋田県 3 名 (東成瀬村手倉交流センター)
- ・宮城県 90 名 (みちのく伝創館 25 名他 3 ヶ所 65 名)

(2) 建築物被害 (消防庁 15 日 18:30)

- ・岩手県 半壊 1 棟、一部破損 51 棟、火災 1 件
- ・宮城県 全壊 2 棟、半壊 3 棟、一部破損 69 棟
- ・秋田県 一部破損 2 棟、火災 1 件
- ・山形県 一部破損 1 棟

(3) 交通遮断状況

(鉄道)

- ・新幹線は、平常通り運転 (JR 東日本 HP 15 日 07:33)

(道路)

- ・岩手県 道路損壊 9 ヶ所、橋梁損壊 2 ヶ所
- ・秋田県 道路損壊 5 ヶ所
- ・山形県 道路損壊 2 ヶ所 (警察庁 15 日 16:00)

(海上航路)

- ・航路標識の外観点検終了。20:30 灯火の正常点灯の確認終了。異常なし (海上保安庁 14 日 23:30)

(4) ライフライン等の状況

- ・原発：女川 1～3 号機、東通、福島第一 1～6 号機、福島第二 1～4 号機 現在までの所異常が確認されていない (原子力安全・保安院 15 日 11:30)
- ・福島第二 4 号機原子炉建屋 5 階で約 4 リットルの水溜まり。サイトバンカ建屋で約 15 リットルの水溜まり、サイトバンカ建屋 2 階のピット底部内に約 1 リットルの水溜まり。2 号機原子炉建屋 4 階東側通路空調ダクトの下などに約 9 リットルの水溜まり。なお、施設からの外部への漏洩は確認されず。 (原子力安全・保安院 15 日 11:30)
- ・停電：325 戸 (原子力安全・保安院 15 日 18:00)
 - 岩手県奥州市 14 戸 (全て道路照明)
 - 宮城県栗原市 311 戸 (うち、道路照明 67 戸)土砂崩れや道路の寸断などにより、復旧作業に着手できない状況となっている地域を除き、送電は復旧。現在、停電している地域については、今後の道路等の回復状況により順次作業を進める。
- ・ガス：全て対応終了 (原子力安全・保安院 15 日 11:30)
- ・断水：(厚生労働省 15 日 16:00)
 - 岩手県 1026 戸 (奥州市 1000 戸、一関市 26 戸)
 - 宮城県 2780 戸 (栗原市 2780 戸)
- ・宮城県内で一部電話不通 (95 加入電話) (総務省 15 日 07:00)
- ・宮城県内で携帯電話基地局 (2 社 4 基地局) が停波中 (総務省 15 日 07:00)

3. 政府の主な対応

14日

- ・ 08:50 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- ・ 08:50 総理指示 被災状況の早期把握と迅速な広報及び被災者等ある場合、救助に全力を挙げることに全力を挙げることに

(緊急参集チーム確認事項)

1. 岩手県内陸南部を震源とする地震について、県や市町村と一体となって、被害状況を早急に確認し、速やかな救出・救助活動に全力を尽くす。
2. 広域に及ぶ被害が確認された場合には、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣による被災地への広域応援を行い、必要に応じ増援し、被害の状況に応じて万全の体制を期する。
3. 引き続き、県や市町村との的確な連携を図りながら、政府一体となって適切に対応する。

- ・ 11:38 政府調査団（団長：防災担当大臣）出発、13:35 現地着（派遣場所 岩手県一関市、宮城県栗原市）

- ・ 15:20 総理指示

現地では、孤立されている方々や、行方不明になっている方々がまだまだいる可能性がある。

現在でも救出が進みつつあるが、日没が迫っている。今後さらに、警察、自衛隊、国交省などのヘリを効果的に運用して、可能な限り状況把握に努め、救出活動に全力を挙げてもらいたい。

- ・ 16:30 政府の現地連絡対策室設置（宮城県栗原市役所内）
- ・ 政府調査団、団長以下19名は現地に滞在。他の要員は18:34 現地から市ヶ谷に向けて離陸、20:30 市ヶ谷着陸
- ・ 岩手県一関市、宮城県栗原市に災害救助法を適用（厚生労働省 14日 19:00）
- ・ 18:50 総理指示

① 救助活動及び被害の確認作業について、夜間においても引き続き全力で実施せよ。

② 被災者の避難・救援にも万全を期せ。

- ・ 20:00 災害対策関係省庁連絡会議 開催

申し合わせ事項

1. 行方不明者の搜索を含め、被災者の救出・救助活動に全力を尽くすこと。
2. 被災地方公共団体と連携・協力して、被害状況の的確な把握に努めること。
3. 被災者が1日も早く安心した生活に戻れるよう、避難者等の支援対策に尽力すること。
4. 道路や水道等のライフラインの応急対策や災害復旧に適切に対応すること。

5. 引き続き大規模な余震が発生する可能性があることから、応急対策活動に際しては留意するとともに、被災者の安全確保に万全を期すること。
6. その他被災者の支援、被災地の早期復旧・復興に向けて、関係省庁が一体となって対応に万全を期すること。

15日

- ・ 09:00 緊急参集チーム会議開催
- ・ 10:30 総理指示
引き続き行方不明者の情報を確認し、捜索・救出に全力を尽くせ
- ・ 12:30 団長以下、政府調査団、市ヶ谷に着陸
- ・ 12:38 防災担当大臣が官房長官に現地調査結果の報告
(防災担当大臣への総理指示)
 - ・ 引き続き行方不明者の情報を確認し、捜索・救出に全力を尽くすこと
 - ・ 未復旧のライフラインの復旧に早急に手をつけること
- ・ 岩手県奥州市、北上市、胆沢郡金ヶ崎町（いさわぐんかねがさきちょう）、西磐井郡平泉町、宮城県大崎市に災害救助法を適用（厚生労働省 15 日 13:00）

4. 各省庁の活動状況

(対応勢力) 警察庁 4 1 2 7 人 (※災害警備本部員を含む)、ヘリ 1 0 機 (15 日 06:00)
 消防庁 8 1 5 人、陸上部隊 1 8 4 部隊、ヘリ 1 6 機
 被災地外からの出動 (15 日 16:15)
 防衛省 約 2 2 3 0 人、車両約 4 6 0 両、航空機 4 9 機 (15 日 11:00)
 海上保安庁 巡視船 2 隻、航空機 1 0 機 (15 日 10:50)

(情報収集活動等)

- ・ 陸自ヘリ 5 機、偵察隊、海自固定翼機 2 機、ヘリ 2 機、空自固定翼機 3 機で偵察活動を実施中 (防衛省 14 日 10:40)
- ・ 海保 船艇 2 5 隻、航空機 1 1 機による沿岸部被害状況調査の結果、沿岸部に被害を認めず (海上保安庁 14 日 14:20)

(広域応援等)

(1) 緊急消防援助隊 (消防庁)

緊急消防援助隊 (福島県、宮城県、東京都、新潟県、秋田県、埼玉県、千葉県、山形県、群馬県、山梨県、富山県、石川県、北海道、青森県、茨城県、栃木県、神奈川県) が宮城県、岩手県に派遣

(2) 広域緊急援助隊 (警察庁)

- ・ 広域緊急援助隊 (福島県警、埼玉県警、警視庁、山形県警、青森県警、新潟県警、茨城県警、栃木県警、群馬県警、千葉県警、神奈川県警、山梨県警、長野県警、静岡県警) が岩手県、宮城県に派遣

- ・警察ヘリ 7 機（警視庁 3 機、青森県警 1 機、千葉県警 1 機、神奈川県警 1 機、北海道警 1 機）
 - ・警察機動通信隊を派遣（福島、青森、茨城、関東管区）
- （3）災害派遣（防衛省）
- ・ 10：50 岩手県知事より第 9 特科連隊長に災害派遣要請
 - ・ 11：00 宮城県知事より第 6 師団長に災害派遣要請
（活動中の部隊）
 - 陸自 4 個ヘリ部隊、2 個偵察隊、2 個連隊、3 個大隊、1 個施設団
 - 海自 3 個航空群、1 個教育航空隊
 - 空自 2 個航空団、2 個救難隊
 - ・道路啓開、給水支援、入浴支援を実施
- （4）特殊救難隊等（海上保安庁）
- ・特殊救難隊 1 隊、機動防除隊 1 隊、機動救難士派遣、回転翼機 6 機、固定翼機 3 機、巡視船 2 隻
- （5）DMAT（厚生労働省 15 日 8:30）
- ・DMAT（災害派遣医療チーム）36 チームを派遣、現地にて 21 チームが活動中
 - ・千葉県ドクターヘリが被災地にて活動中
 - ・福島県ドクターヘリが被災地にて活動中
- （6）緊急災害対策派遣隊（TEC—FORCE）等（国土交通省）
- ・本省、地方整備局、気象庁地震観測班等からなる TEC—FORCE を 14 日現地に派遣
 - ・照明車 18 台、衛星通信車 3 台等を派遣

5. その他

14 日 08：43 宮城県・岩手県・秋田県災害対策本部設置（消防庁 14 日 10:20）